

平成 28 年 1 月 5 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社商船三井に「S M B C サステイナビリティ評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、株式会社商船三井（代表取締役社長：池田 潤一郎）に対し、「S M B C サステイナビリティ評価融資」を実施致しました。

「S M B C サステイナビリティ評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）が作成した独自の評価基準に基づき企業の ESG ¹側面の情報開示とサステイナビリティ ²への取組みなどを評価し、評価結果に応じた融資条件の設定を行うとともに、取組みや情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の株式会社商船三井に対する評価結果は、「事業活動における環境負荷削減の取組（気候変動）」、「事業活動における環境負荷削減の取組（気候変動以外）」、「顧客に対する誠実さ」において非常に高い水準であると判断され、サステイナビリティに向けた企業経営において、大変優れた ESG 側面の取組と情報開示を実施されているとの評価になりました。

特に ESG 側面の取組みでは、国内外連結グループ会社における環境負荷をほぼ網羅的に把握されているほか、単位輸送当たりの CO2 排出量削減に向けて、環境配慮型船舶における技術面での取組みを年々進化させているとともに、Eco Sailing の徹底等の運航面の取組みを継続されている点、国際的な環境規制に先駆けて、NOx、SOx 排出量等の削減に取り組まれているほか、バラスト水処理装置設置等の生物多様性保全に向けた取組みを着実に実施しておられる点、安全運航の実現に向けて、安全運航支援センター（SOSC）を設置するなど運航体制を強化しておられるとともに、コンテナ船部門では、輸送品質を測る KPI として「定時到着率」の目標値を設定し、継続的な改善を図っておられる点等が評価され、情報開示においても良好な開示がなされているとの評価となりました。

なお、株式会社商船三井に対する「S M B C サステイナビリティ評価融資」の実施は今回で 2 回目となり、前回より更に取組みを向上され、最上位評価の取得となりました。

三井住友銀行では、「S M B C サステイナビリティ評価融資」により、企業のサステイナビリティへの取組みを、金融を通じて支援してまいります。



風圧抵抗を低減する風防を備えたコンテナ船



運航船の動静、気象・海象を監視する安全運航支援センター（SOSC）



デルフト工科大学 海洋工学専攻の学生との意見交換

<ご参考>

1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

2 サステナビリティとは

サステナビリティ（sustainability）とは、「持続可能性」を意味する英語であり、地球社会から企業活動まで、様々な状況において使用される用語です。一般的に、企業のサステナビリティというとき、地球環境や社会の持続的な発展に貢献しつつ、その上で自社が社会に認められ長期的に繁栄するために不可欠な企業の取組を指します。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。